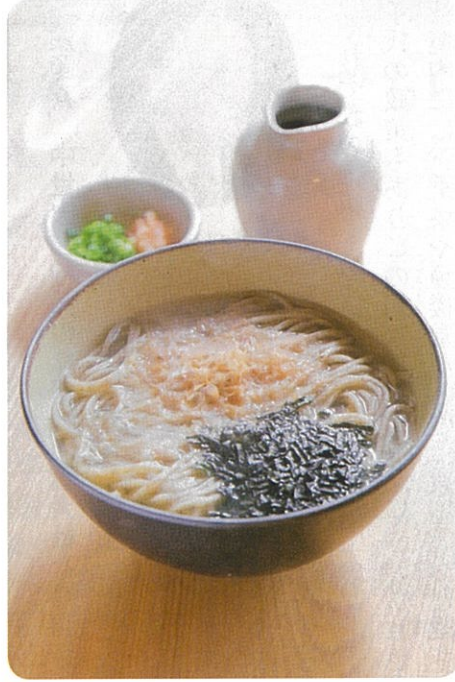




わりこ  
割子そば



かまあ  
釜揚げそば

(写真提供：公益社団法人 島根県観光連盟)

**財団いづも**

第24号

発行所  
公益財団法人いづも財団  
〒699-0701  
島根県出雲市大社町杵築東283  
大社國學館内  
TEL 0853-31-4346  
FAX 0853-31-4348  
info@izumozaidan.or.jp

編集発行人  
山崎 裕二



副理事長 江口博晴

島根県の郷土食を代表するものに、出雲そばがあります。近年は観光客の間でも人気が高く、出雲そばを食べることを楽しみに当地を訪れる人々もたくさんいます。

出雲そばは、皮ごと挽くために黒っぽい色をしており、少々歯ごたえがあります。信州そばのように麺をつゆにつけてのど越しを味わうのではなく、麺にだし汁をかけて噛んで、そばのもつ風味と食感を味わいます。

出雲で「そば(蕎麦切り)」を食べたとする記録は、一六六六年に松江藩寺社奉行の岡田半右衛門が自邸を訪れた出雲大社上官の佐草自清に、「そば」を振舞ったとあるのが初見です。ということは、江戸初期には「そば」は賓客への振舞として出されるものであり、庶民の食べ物ではなかったこととなります。

しかし、その後、松江城下では武家や有力商人の間で「そば」の振舞いが広まり、大社の出雲国造家でも賓客に「そば」が振舞われました。そして十九世紀頃から、松江や大社では、庶民向けに「そば」を出す

店も現れました。

出雲そばには、「釜揚げそば」と「割子そば」の二つの種類があります。「釜揚げそば」は、茹でたそばをそのまま器に盛り、とろみのあるそば湯を入れ、つゆや薬味をかけて食べます。これは、江戸末期に出雲大社で行われた神在祭(旧暦十月)において、屋台業者が参詣客に手狭な屋台を有効利用するために始めたことが、結果的には普及を促進することとなりました。

「割子そば」は、茹でて水洗いしたそばを「割子」(弁当箱)に入れて、薬味を乗せ、だし汁をかけて食べます。もとは趣味人たちが野外で食べるために考案されたものですが、やがて室内で食べることも増えてきました。食べ方は、一段目の割子に薬味とつゆをかけて食べ、つゆが余れば二段目・三段目へと移していきます。つゆを無駄なく利用するところに特色があります。ちなみに、「割子」はもともと長方形や楕円形でしたが、容器の隅々まで手早く洗えるという利点から、今日のような円形なものに変わっていきました。

このようにみていけば、出雲そばは、出雲の人々が三五〇年間という長い年月をかけて培ってきた様々な知恵と工夫が凝縮された「食」の伝統文化といえます。

いづも財団ニュース

公開講座「中世出雲の歴史と地域文化」

が始まる

「出雲の歴史文化を学ぶ！」シリーズの第三弾として、今年度は「中世出雲の歴史と地域文化」をテーマに取り上げ、公開講座を開講しています。第二回講座まで終了しましたので、その概要をお知らせします。

第一回講座（令和五年五月二十日(土)）受講者数 八一名

主題 神仏習合と中世出雲神話の世界

演題A 中世出雲神話のなかの出雲大社と鰐淵寺

講師 井上 寛司 先生(島根大学名誉教授)



中世の出雲大社が古代や近世以降と異なることは、鰐淵寺と提携するようになったことであり、鎌倉・室町期には鰐淵寺僧が下山して出雲大社の正月や三月会に参加するなど、両寺社は相互補完しながら、それぞれの権威を高めていきました。戦国大名・尼子氏の時代になると、尼子氏の政策もありこの相互補完関係が崩れ、仏教色が強くなり、出雲大社境内には三重塔や鐘楼堂などの仏教施設も建設されるようになったと説明されました。

演題B 神仏習合のなかの杵築稻佐浜と日御碕

講師 岡 宏三 先生



中世のわが国では、神道と仏教が相互補完をしながら宗教的権威を高めていこうとする動きが顕著と(県立古代出雲歴史博物館専門学芸員)

なりました。出雲では出雲大社と鰐淵寺が、その提携を地域民衆に説くために、鰐淵寺僧が古代神話をモチーフに「浮浪山」神話を創作したことでした。

また、神々の寄り来る浜と考えられていた稲佐の浜は、西方浄土の入り口とも考えられ、戦国期にはこの浜から重善上人ら二十一名が西方浄土を目指して捨て身業(補陀落渡海)に出かけたとの話も伺いました。受講者からは、「神々の寄り来る稲佐浜でこのような捨て身業が行われていて驚いた」との感想がありました。

第二回講座（令和五年七月二十二日(土)）受講者数 五八名

主題 西遷御家人と出雲大社三月会

演題A 西遷御家人と出雲国

講師 田村 亨 先生



「西遷御家人」に関する研究は、これまで出雲の中世史ではあまり扱われなかった分野でした。源平の内乱や承久の乱をとおして多くの東国御家人たちが出雲に地頭補任されてやってきましたが、先生はこれを図式化して説明するなど、わかりやすく教えていただきました。これからこの分野の研究に関心をもつ人が増えてくると思いますが、先生にはその先鞭をつけていただきました。

演題B 出雲大社三月会を支えた人々と当番役の輪番制

講師 目次 謙一 先生



中世出雲大社の祭りは年間六十三回ありましたが、そのうちの四回は神職と地域住人が一体となって行われる祭りでした。(県古代文化センター専門研究員)

この四回の祭りを御頭神事と呼んでいますが、最も盛大な祭りが「三月会」でした。三月会の世話人(頭人)は名譽ある役職でした。頭人(頭)たちは、その名譽ある役職を誇るために、互いに贅を競い合ったために破産する頭人も出現しました。そのために鎌倉幕府は、頭人を輪番制で務めるように命令を出しました。先生は、この一連の過程を史料で裏付けながら具体的に説明していただきました。

## 令和三年度の公開講座の記録を

## 書籍化して出版!

当財団は公開講座の講演記録を著書にして発刊しています。令和三年度の公開講座の講演記録を去る令和五年七月十日に『出雲の歴史と地域文化1〜原始・古代編〜』として発刊しました。

気鋭の執筆陣により、出雲平野の成り立ちから荒神谷遺跡出土の青銅器、田和山遺跡、四隅突出型墳丘墓、出雲の古墳、出雲王権と大和政権など、出雲が歴史上もつとも輝いた時代の論考が並んでいます。

松江・出雲市の今井書店、県古代出雲歴史博物館売店などで販売されています。また、通販でも販売しています。



## 理事・監事・評議員の改選!

令和五年六月二十六日に定時評議員会があり、理事(任期二年)、監事(任期四年)、評議員(任期四年)の改選がありました。評議員の入江紀久男氏(前出雲大社氏子会会長)が御勇退なされましたが、理事(六名)、監事(一名)、評議員(十名)が再任され、新しい公益財団法人いづも財団の役員が決定しました。

### 理事 (任期：令和七年定時評議員会まで)

- 古瀬 誠(理事長 松江商工会議所名誉会頭)
- 江口 博晴(副理事長 元鳥根県副知事)
- 千家隆比古(副理事長 出雲大社権宮司)
- 江田 小鷹(元出雲商工会議所会頭)
- 田部長右衛門(鳥根県商工会議所連合会会頭)
- 山崎 裕二(常務理事 公益財団法人いづも財団事務局長)

### 監事 (任期：令和九年定時評議員会まで)

- 吾郷 紘一(吾郷紘一税理士事務所所長)

### 評議員 (任期：令和九年定時評議員会まで)

- 木佐 明宏(出雲大社総代)
- 久保田 一朗(山陰合同銀行特別顧問)
- 杉谷 雅祥(鳥根県中小企業連合会会長)
- 角河 和幸(鳥根県神社庁庁長)
- 千家和比古(出雲大社権宮司)
- 高橋日出男(鳥根県商工会連合会会長)
- 西岡 和彦(國學院大學教授)
- 水師 幸夫(大社地域自治協会連合会会長)
- 宮脇 和秀(鳥根経済同友会終身特別幹事)
- 山崎 茂樹(出雲大社氏子会会長)

## 令和5年度 いづも財団助成金交付先一覧

令和5年度の当財団の助成事業に関して公募したところ、島根県内の団体・個人から15件の申請がありました。8月22日(水)からの専門家による申請書の精査を経て、10月4日(水)の理事会で次のとおり14件の交付先が決定しました。

部門名	No.	事業名	申請団体名	助成決定額
1「出雲」文化の探求事業	1	著作『出雲流庭園－庭づくりの技と見る楽しみ－』の出版事業	島根県技術士会 会長 石田 弘至(松江市)	30万円
2「出雲」文化の保存・継承事業	1	出雲市指定文化財(考古資料)保存修理事業	森山 裕司(出雲市)	5万円
	2	出雲市指定文化財(絵画)保存修理事業	宗教法人誓願寺 代表役員 原 量範 (出雲市)	2万円
	3	県指定無形文化財 雁皮紙無形文化財伝承事業	安部信一郎(松江市)	7万円
	4	『平田本町一式飾り展示館』整備事業	平田一式飾り保存会 会長 大島 治(出雲市)	40万円
	5	松江市指定文化財野原町八幡宮の七十五膳神事用木椀製作事業	野原町八幡宮 七十五膳神事保存会 会長 小谷 高志(松江市)	15万円
	6	日登神楽の仕掛け付き古面の写し面の作製事業	日登神楽保持者会 会長 高尾 佳男(雲南市)	25万円
	7	石見神楽衣裝修繕事業	丸茂神楽社中 代表 大谷 真登(益田市)	30万円
3 伝統文化を活かした地域の活性化及び寺社林の環境整備事業	1	大社神謡「八雲立」・「新玉」の指導冊子作成事業	大社神謡保存会 会長 馬庭 孝司(出雲市)	10万円
	2	地蔵盆行事の保存継承事業	地蔵盆行事を保存継承する会 会長 扇子 勇次(出雲市)	30万円
	3	「ふるさと探訪 三沢町・原田の巻 今昔物語」出版事業	みざわ歴史探訪の会 会長 田部 英年(奥出雲町)	14万円
	4	小森神楽の伝承と活性化事業	小森神楽保存会 会長 飛田 忠(奥出雲町)	20万円
	5	「山陰万葉の豊かさ」出版及び発信事業	山陰万葉を歩く会 会長 川島英美子(松江市)	30万円
	6	鎮守の森保存助成事業	毛津神社総代会 会長 園山 佳利(出雲市)	35万円

事業期間 令和5年10月4日～令和7年9月30日(最長2年間)

計293万円

## ふるさとの森再生事業 森林に親しんでもらおう!!

平成25年から取り組む「ふるさとの森再生事業」は、広葉樹を中心にその土地本来の森林を再生することが第一目的ではありますが、その森林を永く保全していくためには地域住民の方のご理解が必要不可欠です。各市町村が地域の方に対して実施されている、森林に親しんでもらうための取り組みを紹介します。

### 邑南町・鱒淵地区



森林教室の案内チラシ

邑南町では、宿泊施設「いこいの村しまね」に隣接する町有地で事業を実施されています。当該地はかつて生活環境保全林として整備されましたが、雪害や風倒被害などの気象災害、マツ枯れやナラ枯れなどにより荒廃が進みました。そこで本事業で広葉樹を中心に森林の再整備をおこない、かつての遊歩道を補修するなど、再び地域の方に親しんでもらうよう事業を進めてきました。同町では植栽等も地元の中学生に参加してもらうなど、積極的に地元への周知に取り組んでこられました。令和2年からは地域の公民館と共催で「森の学校」と題し、地元の老若男女を対象に毎年3回森林教室を開催されています。



参加者にルールを説明

「ヒントを頼りに木を探せ!」と題した教室では、参加者が名前や写真などが書かれた「攻略のヒント」を頼りに「マツ」「ヒノキ」「クロモジ」などの木々を探して台紙に貼り、それを基にビンゴゲームを楽しみました。



拾った落ち葉を台紙に貼り付ける

### 松江市・菅浦地区

松江市では、1地区目の山代地区に続き、2地区目として美保関町菅浦地区で事業を実施されています。かつて当該地域は松の天然林でしたが、松くい虫被害によりほぼ全滅し、広葉樹林帯と人工林帯が混在していましたが、いずれも管理不足により荒廃が顕著にみられました。

そこで本事業では竹林・荒廃人工林を伐採し、常緑広葉樹を中心とした森づくりを進められています。その際に不要木を伐採する抜き伐りを、地元の小学生を招き森林学習として体験してもらいました。



小学生に説明する担当者

### 奥出雲町・三沢地区

奥出雲町の施業地は、旧三沢村財産区で、古くから地元の山として親しまれています。ただ整備がなされず近年は荒れた状態になっており、本事業により広葉樹を中心とする整備が進められてきました。令和3年度で主な整備が一通り完了し、令和4年度には区域内各所に散策ルートを示した案内板を設置され、地元の方をはじめ登山者に親しんでもらえるよう工夫がされています。



散策ルート案内板

令和五年度会員名簿

(九月三十日現在)

法人会員

Table listing members categorized by '法人会員' (Corporate Members) and '個人会員' (Individual Members). Each entry includes the member's name, address, and affiliation.

- 加村健悟(出雲市)
- 亀山 悟(出雲市)
- 亀山奈菜美(広島県)
- 亀山捷利(宮崎県)
- 亀山美雪(出雲市)
- 亀山結実菜(出雲市)
- 嘉本直樹(出雲市)
- 樺野 尚(松江市)
- 鳥田富夫(出雲市)
- 川上英男(出雲市)
- 川嶋ひろみ(和歌山県)
- 川島美美子(松江市)
- 川谷琴子(出雲市)
- 川谷誠一(出雲市)
- 川谷貴大(出雲市)
- 川谷貴大(出雲市)
- 川谷美琴(出雲市)
- 川本貢功(松江市)
- 神田幸則(出雲市)
- 木佐明宏(出雲市)
- 木次井悠介(出雲市)
- 北井加代子(出雲市)
- 北井征二(兵庫県)
- 北井武志(出雲市)
- 北島建孝(出雲市)
- 北原郁子(松江市)
- 北吉チヨミ(大阪府)
- 木村 進(出雲市)
- 共同店(大國美矢子)
- 喜和田公二(出雲市)
- 金時堂株式会社
- 金鳳酒造有限公司
- 草谷和子(出雲市)
- 草山由梨(神奈川県)
- 熊山仁志(邑南町)
- 黒崎寿政(出雲市)
- 黒田郁子(出雲市)
- 黒目潤子(出雲市)
- 桑原健一(出雲市)
- 桑本 嶺(出雲市)
- 小池清尹(出雲市)
- 神門貞良(出雲市)
- 神門應勝(出雲市)
- 幸野谷昌人(京都府)
- 郷原 勇(雲南市)
- 小椋小百合(出雲市)
- 小椋輝枝(出雲市)
- 後藤 博(松江市)
- 後藤昌弘(出雲市)
- 小林一生(出雲市)
- 小林俊介(出雲市)
- 小川祥泰(出雲市)
- 古福克彦(出雲市)
- 小松博幸(出雲市)
- 小松原優子(出雲市)
- 木幡育夫(松江市)
- 木幡 尊(松江市)
- 齋藤聰次郎(出雲市)
- 佐伯善巳(岡山県)
- 坂根京子(出雲市)
- 坂本 隆(出雲市)
- 坂本正人(出雲市)
- 櫻井誠己(松江市)
- 佐々木庸(出雲市)
- 佐々木博(北海道)
- 佐々木昌延(浜田市)
- 佐竹俊幸(埼玉県)
- 佐藤辰男(出雲市)
- 佐藤辰巳(出雲市)
- 佐藤横子(出雲市)
- 佐藤陽一(出雲市)
- 佐藤巻良(出雲市)
- 品川知彦(松江市)
- 篠原春夫(三重県)
- 志摩茂樹(山形県)
- シマネヤ眼鏡店
- 飯島健太(出雲市)
- 清水義久(神奈川県)
- 昌子宗賢(松江市)
- 神社ガールズ研究会
- (河野美知)(松江市)
- 新 博治(広島県)
- 新 安祐(広島県)
- 新宮清志(東京都)
- 宍道正年(松江市)
- 新藤正春(出雲市)
- 杉谷桂子(出雲市)
- 杉谷 城(奈良県)
- 杉谷寿之(出雲市)
- 杉原元治(出雲市)
- 杉本 照(和歌山県)
- 須佐和夫(出雲市)
- 須佐公和(出雲市)
- 鈴木登美子(神奈川県)
- 鈴木益彦(松江市)
- 須谷 洋(出雲市)
- 周藤祥三(出雲市)
- 角 篤(出雲市)
- 陶山 章(出雲市)
- 妹尾圭人(出雲市)
- 妹尾佳明(東京都)
- 千家昭子(出雲市)
- 千家礼子(出雲市)
- 千家活彦(東京都)
- 千家国麿(出雲市)
- 千家純子(東京都)
- 千家尊祐(出雲市)
- 千家真彦(大阪府)
- 千家寛彦(神奈川県)
- 千家隆比古(出雲市)
- 千家典子(出雲市)
- 千家徳比古(出雲市)
- 千家幸子(大阪府)
- 千家和美(出雲市)
- 千家敬麿(大阪府)
- 曾田明雄(出雲市)
- 曾田賢一(出雲市)
- 曾田暢雄(出雲市)
- 曾田安信(出雲市)
- 園山和美(出雲市)
- 園山孝司(出雲市)
- 園山暢男(出雲市)
- 園山幹生(埼玉県)
- 園山雄一郎(出雲市)
- 園山幸雄(松江市)
- 大社門前いづも屋
- 高木玄明(出雲市)
- 高木秀輝(出雲市)
- 高野一三(出雲市)
- 高橋 正(出雲市)
- 高橋敏道(出雲市)
- 高橋朋子(東京都)
- 高橋直裕(出雲市)
- 高橋正和(出雲市)
- 高橋成知(出雲市)
- 高橋陽子(滋賀県)
- 高見初彦(出雲市)
- 竹下孝子(松江市)
- 竹下正幸(出雲市)
- 竹下忠孝(出雲市)
- 武田寿博(出雲市)
- 武田紀子(出雲市)
- 竹並 清(茨城県)
- 多々納テル子(出雲市)
- 立久恵音頭保存会
- (安喰公美)(出雲市)
- 立花佑祥(出雲市)
- 立花直明(出雲市)
- 田中和彦(長崎県)
- 田中富雄(出雲市)
- 田邊達也(出雲市)
- 谷本隆臣(大田市)
- 多根美奈子(出雲市)
- 玉井浩邦(松江市)
- 玉木屋印刷(青木治)
- (出雲市)
- 千熊正憲(大阪府)
- 土江志朗(出雲市)
- 津戸弘光(出雲市)
- 津戸雅志(東京都)
- 常松 豪(出雲市)
- 都岡正隆(雲南市)
- 鶴見 誠(出雲市)
- 手銭白三郎(出雲市)
- 手銭 豊(出雲市)
- 出水明子(大阪府)
- 東條京子(福島県)
- 東條 勝(福島県)
- 藤間 武(出雲市)
- 富岡由美子(東京都)
- 豊田啓司(松江市)
- 内藤篤雄(出雲市)
- 内藤久義(出雲市)
- 直良昌幸(出雲市)
- 中美智子(出雲市)
- 中泉 淳(東京都)
- 中尾克行(出雲市)
- 中尾健二(出雲市)
- 長岡呉服店(出雲市)
- 長岡 栄(出雲市)
- 永岡達朗(出雲市)
- 長岡義孝(東京都)
- 長廻三枝子(出雲市)
- 長島隆広(京都府)
- 中島隆三(出雲市)
- 中島雄三(出雲市)
- 中筋映子(出雲市)
- 中筋豊通(出雲市)
- 中筋廣昭(松江市)
- 永瀬崇三(出雲市)
- 永田悦子(出雲市)
- 永田靖一(大阪府)
- 永田正巳(出雲市)
- 永田幸弘(出雲市)
- 永見鏡子(大阪府)
- 中道豪一(広島県)
- 中山光夫(邑南町)
- 柳楽愛子(出雲市)
- 柳永正雄(出雲市)
- 成相和代(出雲市)
- 成相有一(出雲市)
- 成瀬敏郎(出雲市)
- 西家秀夫(出雲市)
- 西尾哲郎(出雲市)
- 西尾哲郎(岡山県)
- 西岡和彦(神奈川県)
- 錦田剛志(出雲市)
- 錦田充子(出雲市)
- 錦織稔之(出雲市)
- 西田新治(福岡県)
- 西山順子(出雲市)
- 野田 清(出雲市)
- 野津登美子(出雲市)
- 登川文一(沖縄県)
- 畑美穂子(出雲市)
- 服部泰直(松江市)
- 花田敦子(出雲市)
- 花田史朗(出雲市)
- 花田智治(出雲市)
- 早川正樹(雲南市)
- 林 秀樹(雲南市)
- 林 幹夫(松江市)
- 原 智美(出雲市)
- 原 哲夫(出雲市)
- 原 幹雄(出雲市)
- 春木英二(出雲市)
- 土方幸子(出雲市)
- 日野 正(出雲市)
- 日比谷勝(松江市)
- 平岡邦彦(出雲市)
- ひらの屋 平野裕一
- (出雲市)
- 廣江俊邦(松江市)
- 廣澤將城(出雲市)
- 福川裕徳(高知県)
- 福田橋実香(出雲市)
- 福田隆男(出雲市)
- 福田文夫(鳥取県)
- 福田真喜子(出雲市)
- 福田 実(出雲市)
- 福岡 進(大阪府)
- 福岡崇夫(出雲市)
- 福岡利行(出雲市)
- 福岡賢文(出雲市)
- 福村範子(松江市)
- 藤井健司(出雲市)
- 藤井孝三(出雲市)
- 藤井丈治(広島県)
- 藤井隆弘(出雲市)
- 藤井寿男(出雲市)
- 藤井正成(広島県)
- 藤井雄治(出雲市)
- 藤井幸雄(出雲市)
- 藤井 豊(出雲市)
- 藤江啓子(出雲市)
- 藤田佳子(千葉県)
- 藤原久一(奥出雲町)
- 藤原章司(出雲市)
- 藤原 徹(出雲市)
- 藤原秀彬(出雲市)
- 伏見利雄(神奈川県)
- 伏見梨花(神奈川県)
- 藤村八郎(出雲市)
- 藤本和子(山梨県)
- 藤本 祥(埼玉県)
- 藤本 剛(出雲市)
- 布野克己(出雲市)
- 古瀬修一(松江市)
- 古瀬智彦(松江市)
- 古瀬保之(松江市)
- 古瀬麻美(愛知県)
- 古屋勤士(出雲市)
- 古山房雄(松江市)
- 別火龍一(出雲市)
- 別所親房(京都府)
- 別所豊夫(出雲市)
- 細木辰幸(雲南市)
- 法橋美智子(出雲市)
- 本田研治(出雲市)
- 前島和枝(出雲市)
- 前田流依(出雲市)
- 横原政治(出雲市)
- 増浦行仁(大阪府)
- 松井邦江(出雲市)
- 松井恵治(出雲市)
- 松井笙梧(東京都)
- 松井周子(出雲市)
- 松井 誠(出雲市)
- 松井好夫(出雲市)
- 松崎忠司(奥出雲町)
- 松崎道子(出雲市)
- 松崎みどり(奥出雲町)
- 松崎幸枝(奥出雲町)
- 松田泰典(出雲市)
- 松戸恵美子(出雲市)
- 松永寿江(松江市)
- 松野巨芳(岐阜県)
- 松原廣美(出雲市)
- 松本岩雄(松江市)
- 松本健志(出雲市)
- 松本俊憲(出雲市)
- 松本敏浩(出雲市)
- 松本倫枝(大田市)
- の野克之(益田市)
- 馬庭孝司(出雲市)
- 水野二郎(滋賀県)
- 三成礼次(兵庫県)
- 三原順一(出雲市)
- 三原順二(出雲市)
- 三原伸二(出雲市)
- 三原道夫(出雲市)
- 三村智彦(千葉県)
- 宮崎照司(静岡県)
- 宮里慎二郎(大田市)
- 宮本善充(出雲市)
- 宮本泰行(出雲市)
- 森 眞史(松江市)
- 森口正夫(邑南町)
- 森廣 操(出雲市)
- 森本いく子(松江市)
- 森本 淳(松江市)
- 森山直知(出雲市)
- 森山公晴(出雲市)
- 森山真吉(出雲市)
- 森山由美(出雲市)
- 森脇哲之(松江市)
- 矢島健一(千葉県)
- 矢田和則(出雲市)
- 矢田信一(出雲市)
- 奴(原田優)(出雲市)
- 山崎敦子(出雲市)
- 山崎一夫(出雲市)
- 山崎敬子(出雲市)
- 山崎茂樹(出雲市)
- 山崎七重(出雲市)
- 山崎延行(出雲市)
- 山崎泰弘(出雲市)
- 山崎裕二(出雲市)
- 山下 信(鹿児島県)
- 山田聖子(神奈川県)
- 山根正明(松江市)
- 山根宮子(出雲市)
- 山根幸文(出雲市)
- 山本章治(大阪府)
- 山本智孝(東京都)
- 山本 浩(東京都)
- 山本勇二(出雲市)
- 山本 豊(京都府)
- 八幡一寛(大田市)
- 有限会社 ギフトなが
- (出雲市)
- 祐源澄子(出雲市)
- 祐源泰成(出雲市)
- 横山雅樹(岡山県)
- 吉川敏夫(出雲市)
- 吉川直喜(出雲市)
- 吉川 實(出雲市)
- 吉田勝彦(出雲市)
- 吉田敏夫(出雲市)
- 吉田安子(出雲市)
- 吉田利江(雲南市)
- 吉野直人(岐阜県)
- 吉原每文(神奈川県)
- 珍部千裕(神奈川県)
- 米田拓朗(出雲市)
- 若月剛久(出雲市)
- 若槻俊二(出雲市)
- 若槻芳充(出雲市)
- 和田秀穂(出雲市)
- 和田晶夫(出雲市)
- 和田晋爾(松江市)
- 和田節子(出雲市)
- 和田統彦(松江市)
- 和田秀穂(出雲市)
- 渡邊憲治(京都府)
- 渡邊喬治(出雲市)
- 渡部良治(出雲市)
- 渡部良平(松江市)
- (個人会員計五二三名)



# あなたが支える「出雲」文化！

先人たちから受け継いだ美しい自然風土や歴史、伝統文化を現代に生かして地域の活性化に結び、それを子孫に橋渡しをする担い手になることを使命とします。

## 会員を募集しています！

### ◆入会について

会費は、年度制（4月～翌年3月）です。いつでも入会できます。

※「出雲」文化を愛し、文化の保存継承に賛同いただける方は、どなたでも会員になれます。

(注)ここでいう「出雲」とは狭義の出雲ではなく、隠岐から石見までを含む幅広い地域を想定しています。

### ◆会員の種類・年会費

正会員（個人）一口 2,000円 正会員（法人）一口 20,000円（何口でも結構です。）

### ◆会員の待遇

○会員証をお送りします。

○下記の協賛施設にて会員証を提示いただくと、優遇措置が受けられます。

・出雲大社宝物殿（拝観料無料、翌年4月末まで有効です）

・出雲文化伝承館、平田本陣記念館（観覧料100円引き）

○定期的に会報「財団いづも」をお送りします。

○3口以上の年会費をお納めいただいた個人会員には、会報にあわせて直近に出版した著書（いづも財団叢書）を贈呈いたします。

### ◆入会方法

1、会員申込資料を電話かファックス、葉書、メールにてご請求ください。

または、直接いづも財団事務局までおいで下さっても結構です。

2、送付された入会申込書に必要事項をご記入のうえ、返信用封筒またはファックスにてお送りください。

3、下記口座のいずれかへ会費をお振込ください。

【郵便局】（現金振込みの場合は加算料金が  
かかります）

同封の郵便局払込票にてお振込ください。

郵便振替口座番号

01360-9-55417

口座名「公益財団法人いづも財団」

（コウエキザイダンホウジン イヅモザイダン）

【銀行】（手数料はご負担願います）

山陰合同銀行 大社支店

普通 3628973

口座名「公益財団法人いづも財団」

（コウエキザイダンホウジン イヅモザイダン）

### お問い合わせ

〒699-0701 島根県出雲市大社町杵築東283 大社國學館内 公益財団法人 いづも財団事務局

電話：0853-31-4346

FAX：0853-31-4348

E-mail：info@izumozaidan.or.jp



いづも財団公式HP